

令和6年度  
事業報告書

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

社会福祉法人信達福社会

# 事業報告書 目次

<b>I</b>	<b>経営改善の重点</b> ……………	1
<b>II</b>	<b>事業計画実施状況</b> ……………	1
1	法人全体……………	1
	(1) 尊厳に根ざした介護とサービスの質の向上	
	(2) 人材の確保と職員の成長を促す人材育成	
	(3) 持続可能で未来志向の経営管理	
2	法人本部……………	4
	(1) 法人運営	
	(2) 計画の進捗管理と経営基盤の強化	
	(3) 人材の確保と育成、業務改善の実施	
3	あつかし荘……………	6
	(1) 特別養護老人ホーム	
	(2) ショートステイ	
4	梁川ホーム……………	10
	(1) 特別養護老人ホーム	
	(2) ショートステイ	
	(3) デイサービスセンター	
	(4) ケアハウス広瀬	
	(5) 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所	
	(6) 伊達市梁川地域包括支援センター	
5	川俣ホーム……………	16
	(1) 特別養護老人ホーム	
	(2) ショートステイ	
	(3) デイサービスセンター	
<b>III</b>	<b>事業報告の附属明細書</b> ……………	22
	市町村別・月別利用状況……………	22
	(1) あつかし荘	
	(2) 梁川ホーム	
	(3) 川俣ホーム	

令和6年度は、「安全・安心・ゆとり」の法人運営理念のもと「尊厳に根ざした介護とサービスの質の向上」「人材の確保と職員の成長を促す人材育成」「持続可能で未来志向の経営管理」に継続的に取り組んだ。

## I 経営改善の重点

令和6年度から8年度を計画期間とする第2次経営改善計画の初年度として、持続可能な経営をめざし、月次分析を用いて施設の現状と課題を把握し、これらに対する改善策、対応策を実施するPDCAサイクルを実施した。また、全施設とも新たな加算算定による収入確保を図るとともに、補助金を活用してあつかし荘では特殊浴槽を更新、梁川ホームでは特殊浴槽とナースコールを更新し利用者の安全性の確保と職員の負担軽減を図った。

川俣ホームでは、認知症カフェや介護相談会への参画、地域サロン活動への参加による施設サービスのPR強化などの取り組みを行った。

また、予算編成においては、収入は過去の実績を参考に算出した稼働率（設計稼働率）を基に算定し、支出は収入の90%以内とするなど均衡のとれた予算とし、収支バランスを意識した事業運営を行った。

特養では梁川ホームと川俣ホーム、短期ではすべての施設で設計稼働率を上回ったが、感染症の影響などにより梁川ホームおよび川俣ホームのデイサービスが、また、退所者の増加などによりあつかし荘の特養が設計稼働率を下回った。

### ▼令和6年度設計稼働率と実績値

	特養		短期		デイ I		デイ II	
	設計	実績	設計	実績	設計	実績	設計	実績
あつかし荘	98.2	98.0	77.6	<b>79.4</b>				
梁川ホーム	98.0	<b>98.4</b>	75.0	<b>80.3</b>	80.0	79.3	58.3	<b>63.0</b>
川俣ホーム	97.0	<b>99.8</b>	70.0	<b>72.3</b>	75.0	74.1	59.0	54.6

## II 事業計画実施状況

### 1 法人全体

#### (1) 尊厳に根ざした介護とサービスの質の向上

高齢者虐待防止や身体拘束適正化などの研修を繰り返し実施することで、虐待に関する認識を深め、虐待防止の実践力をより高めることができた。

また、認知症介護に係る専門的研修を修了した職員を配置するとともに、介護職を含むチームにより認知症の利用者の行動や心理症状の対応に当たることによって認知症への対応力が強化され、利用者の尊厳を守り多職種連携による包括的かつ専門的なケアを提供している。これについては、令和6年度新設された加算の要件となっており、全施設において加算を取得している。

令和6年4月より開始したクックチル方式での給食提供については、味付けなど利用者からの要望等を反映させ、美味しい給食を安定して提供することができている。

▼実施状況

項目	令和5年度実績	令和6年度実績
虐待防止・身体拘束適正化研修関係参加回数	8回	8回
苦情受付件数	あつかし荘 2件 梁川ホーム 0件 川俣ホーム 0件	あつかし荘 0件 梁川ホーム 0件 川俣ホーム 0件
挨拶や言葉遣いに対する利用者・家族満足度(回答件数)	あつかし荘 100% (49件) 梁川ホーム 100% (63件) 川俣ホーム 100% (53件)	あつかし荘 100% (57件) 梁川ホーム 98% (76件) 川俣ホーム 96% (49件)

(2) 人材の確保と職員の成長を促す人材育成

令和6年4月に給食業務を直営化したことに伴い、年度内に厨房職員を33名採用した。

令和6年7月に高校生を対象とした職場見学会を実施し、参加した高校生3名が令和7年4月採用(高卒3名、専門学校卒1名)につながった。また、10月には障害者就職面接会に参加し、2名の職員採用につながった。今後も多様な人材確保に努めていく。

人材育成については、主任職を対象とした全6回のリーダー研修をはじめ、課長職を対象とした「人材定着のためのコミュニケーション力強化」に関する研修に外部講師を招いて実施したほか、新人研修、役職別研修、役職就任時研修を実施した。

また、職場環境の改善と風通しの良い職場づくりを目指して実施した若手職員による業務改善プロジェクトでは、実際に業務改善が図られたほか、介護業務改善活動や法人施設間交流を通して問題意識を高め、チームで解決する力を養うことができ大きな成長が感じられた。施設ごとに活動し、あつかし荘と梁川ホームでは「レクリエーション活動の充実」、川俣ホームでは「口腔ケアの充実」について業務改善が行われた。今後も継続した活動として定着させていく。

時間外勤務の時間数は、ICT機器の活用など継続して取り組んでいる業務効率化や適正な人員配置により法人全体で前年度比9%減となった。

▼実施状況

項目	令和5年度実績	令和6年度実績
就職説明会等開催回数(WE B説明会含む)	12回	8回
採用人数 高年齢者・障害者	8名・0名	27名・3名

※高年齢者 60歳以上

▼法人職員研修

日程	研修名(内容)	対象人数
令和6年4月5日	副主任研修(就任時)	5名
4月9日	課長研修(就任時)	2名
4月11日	係長研修(就任時)	3名
4月12日	主任研修(就任時)	2名
6月～11月	リーダー研修(全6回)	17名
10月25日	厨房リーダー研修	3名

日程	研修名 (内容)	対象人数
8月20日	カスタマーハラスメント研修	44名
10月1日	課長研修	12名
11月14日	労務管理研修	7名

▼働きやすい職場づくり

項目	令和5年度実績	令和6年度実績
子の看護休暇取得者数	6名	4名
産後パパ育休取得者数	2/2名	0/0名
介護休暇取得者数	4名	1名
有給休暇平均取得日数	10.4日	10.0日
病気休暇取得者数 (内コロナ感染)	35名 (内22名)	31名 (内13名)
時間外勤務数	7,810時間	7,089時間

▼法人全体職員状況

項目	令和5年度	令和6年度	前年度対比
職員数 ※各年度4月1日現在	226名	257名	+31名
退職者数 ※各年度未現在	31名	28名	-3名
採用者数 (中途含む) ※各年度未現在	37名	67名	+30名

※職員数には、4月1日採用者を含む

▼施設別

項目	本部	あつかし荘	梁川ホーム	川俣ホーム	計
職員数	7名	60名	133名	74名	274名
平均年齢	49.6歳	51.1歳	50.5歳	51.7歳	50.9歳
男女比率	男性57% 女性43%	男性30% 女性70%	男性26% 女性74%	男性35% 女性65%	男性30% 女性70%
管理職のうち 女性職員割合	50%	100%	25%	50%	55%

※令和7年3月1日現在

▼新型コロナウイルス感染症の状況

項目	あつかし荘	梁川ホーム	川俣ホーム	ケアハウス
感染者数 (入居利用者)	47名	31名	54名	0名
感染者数 (職員・委託職員)	23名	34名	29名	4名
営業休止日数 (短期入所)	0日間	0日間	0日間	
営業休止日数 (通所介護)		I型0日間 II型0日間	I型5日間 II型5日間	

(3) 持続可能で未来志向の経営管理

令和5年8月に策定した長期修繕計画を基本に、令和7年度から令和16年度までを第一期とし、優先して対応すべき施設設備の改修年次計画（優先2026-2034）を策定した。次年度以降、補助金等の財源の確保を図りながら計画的に設計・事業着手を進めていくこととする。

また、利用者の快適性や安全性の向上および職員の負担軽減を図るため、ナースコールや特殊浴槽整備等について各種補助金を活用して実施した。

▼実施状況

項目	令和5年度実績	令和6年度実績
ICT・介護ロボット導入機器	センサー内蔵ベッド26台 Wi-Fi環境整備 特殊浴槽整備	ナースコール更新(梁川ホーム) 特殊浴槽整備(梁川ホーム・あつかし荘)
補助金、助成金活用件数	12件	6件

2 法人本部

(1) 法人運営

理事会5回、評議員会4回、監事会を下記の通りに開催した。また、9月の理事会開催後に、役員研修として、各施設における施設設備の更新状況や介護事業の現場視察を実施し、現状の理解をいただいた。

▼理事会

回	日程	議案、評議員・理事・監事出席状況
1	令和6年 6月3日	本部管理規程の一部改正、組織管理運営規程の一部改正、施設管理規程の一部改正、臨時雇用職員管理規程の一部改正、特別雇用職員の処遇に関する規程の一部改正、給与規程の一部改正、特別養護老人ホームあつかし荘運営規程等の一部改正、令和5年度事業報告、令和5年度決算報告、梁川ホーム拠点区分の備品等購入積立金及び備品等購入積立資産の積立目的外使用取り崩し、本部、あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、梁川地域包括支援センター、川俣ホームの補正予算、定時評議員会の招集 等 理事 出席7名/欠席1名 監事 出席2名/欠席なし
2	9月10日	就業規程の一部改正、梁川ホーム拠点区分の修繕費積立金及び修繕費積立資産の積立目的外使用取り崩し、川俣ホーム拠点区分の備品等購入積立金及び備品等購入積立資産の積立目的外使用取り崩し、あつかし荘、梁川ホーム、川俣ホームの補正予算、あつかし荘屋根防水改修工事契約、評議員会の招集 等 理事 出席8名/欠席なし 監事 出席2名/欠席なし
3	11月5日	梁川ホームナースコール更新契約 等 理事 出席7名/欠席1名 監事 出席2名/欠席なし
4	12月10日	公印管理規程の一部改正、本部、あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、伊達市梁川地域包括支援センター、川俣ホームの補正予算、評議員会の招集 等 理事 出席8名/欠席なし 監事 出席2名/欠席なし
5	令和7年 3月11日	育児休業、子の看護休暇、育児のための所定外労働の免除、時間外労働及び深夜業の制限並びに育児短時間勤務に関する規程の一部改正、給与規程の一部改正、臨時雇用職員管理規程の一部改正、経理規程の一部改正、資金運用規程の一部改正、職員に対する被服の支給等に関する規程の一部改正、ケアハウス広瀬拠点区分の備品等購入積立金及び備品等購入積立資産の積立目的外使用取り崩し、補正予算、令和7年度事業計画、資金運用計画、理事・監事の報酬等、当初予算、調理済食材購入契約、紙おむつ購入契約、介護保険ソフトウェア等更新リース契約、苦情解決委員会第三者委員の選任、資金運用責任者の任命、役員賠償責任保険の締結、評議員会の招集 等 理事 出席7名/欠席1名 監事 出席2名/欠席なし

▼評議員会

回	日程	議案、評議員・理事・監事出席状況
1	令和6年 6月18日 〔定時評議員会〕	本部管理規程の一部改正、組織管理運営規程の一部改正、施設管理規程の一部改正、特別雇用職員の処遇に関する規程の一部改正、給与規程の一部改正、あつかし荘運営規程等の一部改正、令和5年度事業報告、令和5年度決算報告、本部、あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、梁川地域包括支援センター、川俣ホームの補正予算等 評議員 出席5名／欠席4名 監事 出席2名 出席理事 2名
2	9月18日	就業規程の一部改正、あつかし荘、梁川ホーム、川俣ホームの補正予算等 評議員 出席5名／欠席4名 出席理事 2名
3	12月18日	本部、あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、伊達市梁川地域包括支援センター、川俣ホームの補正予算等 評議員 出席7名／欠席2名 出席理事 2名
4	令和7年 3月19日	給与規程の一部改正、本部、あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、伊達市梁川地域包括支援センター、川俣ホームの補正予算、令和7年度事業計画、理事・監事の報酬等、当初予算等 評議員 出席6名／欠席3名 出席理事 2名

▼監事会

回	日程	監査項目、理事・監事出席状況
1	令和6年 5月21日	本部、あつかし荘、梁川ホーム、ケアハウス広瀬、伊達市梁川地域包括支援センター、川俣ホームの事業報告及び決算計算書類案の監査 監事 出席2名／欠席なし 出席理事2名

▼研修会

日程	研修名	出席者
令和6年 9月10日	社会福祉法人信達福祉会 役員研修会	理事8名、監事2名

(2) 計画の進捗管理と経営基盤の強化

長期修繕計画および施設設備更新計画については、令和7年1月、施設ごとの改修年次計画を示し、併せて、その基礎となり継続的な管理をするために必要な履歴や仕様等を記録した「施設カルテ」を作成した。今後、各施設において改修年次計画を含む臨時的経費を算出し、経営シミュレーションに反映させることで計画的な施設改修および経営の安定につなげていく。

補助金・助成金等の活用については、梁川ホームの特殊浴槽整備およびナースコール設備整備、あつかし荘の特殊浴槽整備および厨房トイレ更新整備で補助金を活用した。このほか、各種研修受講経費に対する補助金の活用も行った。

(3) 人材の確保と育成、業務改善の実施

採用事務の一元化により、職員定数および職員意向調査を基にした採用活動を行い、今年度は67名を採用した。うち、33名は厨房職員として採用し、令和6年4月から直営となった給食業務の安定につなげた。

職員研修計画に基づき、年間を通して研修を実施した。8月には、近年社会

問題となっている「カスタマーハラスメントについて」の研修を実施し、事業所としてのリスク回避方法やハラスメントに対する適切な対処法を学び、職員が安心して働くことのできる環境整備を図ることとした。

また、若手職員を対象とした業務改善プロジェクトを立ち上げ、年間を通して活動を支援した。

### 3 あつかし荘

#### (1) 特別養護老人ホーム

桑折町・国見町の在宅サービスを受けている方の4割近くが認知症を抱えている実態から、令和6年8月に認知症研修に参加し介護の知識や質の向上を図った。9月から認知症チームケア推進加算Ⅱを取得し、さらに取り組みを強化した。

令和7年1月からは生産性向上推進体制加算Ⅱを取得し、記録の管理方法の統一など業務改善に取り組んだほか、令和4年度に導入した見守り支援システム（カメラ付きナースコール）の使用法を工夫するとともに、タブレット端末を活用して所持品管理の記録時間を短縮したことにより利用者に関わる時間を確保することができた。

また、ご家族や医療関係者と協力して作成した人生ノートを看取り介護に活用し、その人らしい最期を過ごしていただくことができた。

特殊浴槽（機械浴）を更新し、利用者、職員ともに安全、安心な入浴ができるようになり、建物改修では、陸屋根防水工事を行い建物の長寿命化を図った。

特養は、4月に措置入所者1名を受け入れ、特養利用者は63名となった。入院者は7名で入院による空床期間は166日となり、また退所は25名となり前年度に比べて6名多かったことにより空床期間合計は年間延べ308日となり目標稼働率には達しなかった。

ショートステイにおいては、4月および5月に新型コロナ感染症による利用見合わせ、7月には体調不良等によるキャンセルが増えた。その後、居宅介護事業所への空床情報を月3回発信し、要介護重度者や医療依存度の高い方も受け入れたことにより、稼働率は目標に近い数字を達成することができた。

#### ▼運営状況

項目	令和5年度実績	令和6年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働 99.2%】	98.4%	98%	-0.4%
延べ利用者数	22,335人	22,687人	+352人
平均要介護度	4.10	4.00	-0.10
平均年齢	87.7歳	86.8歳	-0.9歳
平均空床期間	9.8日	9.6日	-0.2日

#### ① 介護係

法人で取り組んだ若手職員による業務改善プロジェクトにおいて、あつかし荘では利用者のレクリエーションの充実をテーマに掲げた。また、見守り支援

システムの活用により業務の効率化と介護者の負担軽減が図られ、利用者に直接向き合う時間が確保できるようになったことから、工夫を凝らしたレクリエーションの充実を図ることができた。

また、年々増える認知症利用者対応の充実をめざし、毎月1回のマニュアル学習のほか、認知症チームケア推進研修等を行った。

あわせて、入職10年未満の職員を対象とした入浴介助技術講習を通し介護技術向上に取り組んだ。

▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
レクリエーションの実施	3回/週	3回/週	3.3回/週
認知症介護の知識習得	マニュアルの学習、県認知症介護研修受講 3名	マニュアルの学習、県認知症介護研修受講 3名	マニュアル学習 1回/月 認知症チームケア推進研修受講 2名
介護技術講習の開催	全職員研修2回 入職5年以内職員対象技術講習(随時)	マニュアルに沿ったフロアごとの研修2回、入職10年未満職員対象移乗技術講習(随時)	フロアごとの研修2回(移動介助、移乗介助)、入職10年未満職員対象移乗技術講習(入浴介助時)

② 看護係

あつかし荘では、令和4年度より、人生ノートを活用した看取り介護に取り組んできた。利用者本人、ご家族、そして介護者が、利用者の人生の最期をどう過ごすのかを真剣に考えて、寄り添う介護を実践することができた。

4月に新型コロナ感染が広がったが、継続して、新型コロナやインフルエンザ等の感染症対策を行い、基本的な手指消毒の徹底のほか、PPE(個人防護具)着脱訓練等により、利用者の発熱時や嘔吐時には迅速に適切な対応をすることができた。

その他、喀痰吸引や留置カテーテルの管理方法の施設内研修も行った。

▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
看取り介護における利用者・家族の意向の把握	ACPの活用(個々の人生ノートの完成と活用)	ACPの活用	ACPを主に看取り介護開始時に活用
感染症予防対策の強化(マニュアルの見直し)	感染症早見表の作成	感染症BCP訓練 年2回	感染症BCP訓練 年2回(手洗い・PPE着脱・嘔吐処理)

③ 生活相談係

特養入所待機者の様子を毎月1回以上電話等で確認し、ご本人はじめご家族の意向および状況に応じて面接を行い、手続きを進めた。結果、前年度より短時間で入所に至ったが、6月、10月、2月は退所者が重なり、入所準備の調

整に時間を要し入所までの空床期間目標は達成できなかった。

その他、家族対応を担う生活相談員のスキルアップをめざし、電話対応の内部研修を年4回実施し、丁寧な対応につなげることができた。利用者、家族からの苦情はなかった。

▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
入所までの空床期間（全体平均）	9.8日	8日以内	9.6日
相談援助・苦情対応スキルの向上	係打ち合わせ時等に内部研修 4回/年	係打ち合わせ 1回/週 事例検討・内部研修 毎月	係打ち合わせ 1回/週 内部研修 4回/年

④ 機能訓練

業務改善プロジェクトとともに、集団レクリエーションを見直し、手足の運動を取り入れた集団レクのほか、着替えや食事など日常動作による生活リハビリを重視し、自立支援につとめた。また、協力医療機関の療法士による定期的な指導およびその内容を職員で共有したうえで個別リハビリに取り組み、身体機能の維持、生活の質の向上に努めた。

▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
リハビリの実施	個別 1回/週 集団 1~2回/月	個別 1回/週 集団 2回/月	個別 1回/週 集団 1.5回/月
多職種間の情報共有（ポジショニング等）	不定期	3回/月	4回/月

⑤ 栄養管理係

食事は利用者にとって健康の源であり大きな楽しみである。令和6年度から給食提供方式が変わったが、支障なく提供でき、配膳の工夫、冬至かぼちゃなどのふるさとの料理や季節に合わせたおやつ等の提供を行うことで、より季節感を感じていただける食事提供を行った。6月にはちまき作り、敬老会には赤飯を提供した。

また、看取り介護の方が増えたことにより、高齢者で注意が必要な低栄養リスク者の割合は増えたが、栄養ケアマネジメント会議での検討のほか、ミールラウンドにて摂食嚥下状態を評価し、朝夕のミーティング等で情報共有することにより、随時、食事形態の変更、食事場所や離床時間等の調整を行うなど、利用者の体調に合わせた対応を行った。

▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
季節の行事食	1回/月	1回以上/月	2回/月
低栄養リスク者割合	11%	10%以下	16%

## ⑥ 総務管理係

職員の心身ストレスの軽減を目的に、令和4年度から取り組んできた連続休暇取得も定着し、ワークライフバランスを意識し、生活の質を高め、仕事へのモチベーションを維持することができた。

設備機器の整備修繕は、老朽化が進んでいた陸屋根防水工事および厨房トイレ改修を実施した。あわせて特殊浴槽（機械浴）を更新し、これまで座位保持が難しくシャワー浴対応だった方も、安全に浴槽に入浴できるようになり、利用者と職員も安心して入浴できる環境が整った。

見守り支援システムの使用方法も工夫し、感染対策にも活用できた。

また、桑折町が作成した半田沼浸水ハザードマップを元に桑折町および消防団と情報共有した上でBCP訓練を行い、災害等緊急事態に遭遇した際の事業の継続、被害の軽減等、危機管理について訓練を行った。

### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
設備機器等更新・ICT導入状況	ボイラー入替 見守りセンサー内蔵ベッド導入	特殊浴槽入替	特殊浴槽入替
BCPの策定および訓練	BCPに基づく訓練2回 研修1回	訓練 2回/年 研修 1回/年	訓練 2回/年 研修 1回/年
職員の心身ストレスの軽減	連続休暇取得率100% ストレスチェック 高ストレス者の割合 17.9%	連続休暇の取得率100% ストレスチェック 高ストレス者の割合 13.0%	連続休暇取得率93.3% ストレスチェック 高ストレス者の割合 24.4%

## (2) ショートステイ

令和6年4月および5月は、新型コロナのクラスター発生（感染者23人）により、利用キャンセル等が増えた。その後は、空床情報を月3回、居宅介護支援事業所に伝えるとともに、ホームページにも掲載し、情報発信を行い利用者の確保に努めた。また、利用中の様子としてレクリエーションなどの写真を家族へお届けした。

要介護重度者、医療依存度の高い利用者が増え、体調不良による利用キャンセルなどの可能性は高まったが、利用キャンセル時には、次回の利用希望などニーズの把握に努め、居宅介護支援事業所のケアマネジャーと情報共有することで利用をつなぐことができた。また、利用者家族および居宅介護支援事業者宛ての満足度調査を行い、意向を把握し、事業運営に活かすことができた。

### ▼運営状況

項目	令和5年度実績	令和6年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働80.0%】	80.2%	79.4%	-0.8%
一日平均利用者数	8.0人	7.2人	-0.8人
平均要介護度	3.25	3.00	-0.25
一人あたり平均利用日数/月	12.5日	13.9日	+1.4日
新規利用者数	20人	25人	+5人

▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
利用実人数 (月平均)	25人	26人	24.1人
満足度調査の実施	家族 1回/年 回収率 44% 居宅事業所 1回/年 回収率 90% 聞き取り随時	家族 1回/年 回収率 75% 居宅事業所 1回/年 回収率 100% 聞き取り随時	家族 1回/年 回収率 63% 居宅事業所 1回/年 回収率 75% 聞き取り随時
居宅介護支援事業所への空床情報・サービス内容についての情報配付	2~3回/月	3回/月	3回/月

## 4 梁川ホーム

### (1) 特別養護老人ホーム

令和6年度は新規採用職員が多く、職員各々の経験に合わせた育成を図りながら利用者に安全安心なケアを提供することに努めた。事故予防や日々の体調管理を徹底し、事故は28件で令和5年度から17件減少し、入院は延べ115日で令和5年度より164日の減少となった。退所は26件、入所は25件と例年と大差はなかったものの、4月および5月に退所が集中したことで入所までの調整に時間を要し空床期間は13.6日と目標の平均10日以内には届かなかった。

サービス向上に向けては歯科衛生士の栄養ケアマネジメント会議への参加と認知症チームケアの取組みを開始し、加算算定にもつなげることができた。

感染症対策においては、新型コロナウイルスの5類移行に伴い園内スペースでの面会やボランティア受け入れの再開などを進めたが、12月以降3月まで利用者29名が感染した。1名が入院したほかは園内療養で回復していただくことができたものの、ゾーニングの継続的实施、全体行事・面会の制限をせざるを得なかった。

令和6年度は生産性向上に向けたICT化とロボット導入を視野に入れて機種を選定し、ナースコールを見守り支援システム(カメラ付きナースコール)へ、また特殊浴槽を自動昇降機能付きの機種へ入れ替えた。これにより正確で迅速な利用者対応、安全で快適な入浴の支援につながり、併せて職員の負担軽減にもなり働きやすい職場づくりも進めることができた。

▼運営状況

項目	令和5年度実績	令和6年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働98.0%】	98.1%	98.4%	+0.3%
延べ利用者数	28,724人	28,731人	+7人
平均要介護度	4.0	4.0	±0
平均年齢	90.4歳	90.4歳	±0歳
平均空床期間	12.3日	13.6日	+1.3日

### ① 介護係

令和5年度末に退職者が重なったため、年度前半は新規採用職員の指導育成に力を注いだ。結果令和6年度は離職者がなく職員が定着し安定したサービス提供につながっている。8月以降、敬老会や秋祭りなど全体行事も再開できていたが、12月中旬から3月下旬まで新型コロナおよびインフルエンザ感染症の発症により、行事は通り内での縮小開催としたため、全体での開催は年2回の実施となった。通り毎のレクリエーションに関しては塗り絵や体操など個別レクリエーションを随時実施できている。

内部研修に関しては、排泄用品や介護用品の勉強会を行い、介護士の知識技術の向上に繋がっている。

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
集団レクリエーションの実施	全体 月1回 通り 月0回	全体 月1回 通り 月2回	全体 年2回 通り 個別対応随時
内部研修会 (介護技術)	年2回	年2回	年4回

### ② 看護係

介護職員に対するPPE（個人防護具）着脱訓練と動画を用いた感染症研修を計画的に行った結果、利用者の新型コロナ集団感染対応時の職員の罹患を最小限に抑えることができた。また、看護係内でも研修を行い、それに基づき介護士に指導した。

協力病院医師とメール等を活用してデータや画像を用いた利用者の状態報告を毎日行い、早期診断につなげることができた。結果として入院に至らず施設内療養で回復することができ、入院者減につながった。

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
感染症研修・訓練	年3回	年4回	年4回
入院者数	13名	10名以下	6名

### ③ 生活相談係

入所25件、退所26件、入院115日だったが稼働率98.4%となり目標を達成することができた。しかし、入所にかかる日数は4月および5月に退所が8件と通常を上回る件数となったことから、面接・書類請求から調整する必要が生じ目標達成にはいたらなかった。

研修は計画的に外部派遣、内部研修を行うことができ、ケアマネジメントやハラスメント対応における苦情の捉え方などを学びスキルアップを図った。

▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
入所までの空床期間	平均 12.3日	平均 10日以内	平均 13.6日
相談援助苦情対応力の向上	外部研修参加2回 内部研修各月実施	外部研修参加2回 内部研修各月実施	外部研修参加4回 内部研修各月実施

④ 栄養管理係

クックチル方式を導入し、味付けや硬さなどの仕上がりが統一されたものを安定して提供できた。形態別提供割合はゼリー食(54%)、ソフト食(26%)、常食(19%)、その他(1%)となっている。また、食事観察・多職種との情報共有・ミールラウンドに今までよりも時間を使うことができ、栄養ケアマネジメントの充実化につながった。

嚥下障害または認知症のために経口摂取維持の支援を必要とする利用者割合は85%と以前と比較して高くなっており、高齢によるものや新型コロナ罹患による体力低下などから誤嚥性肺炎の発症者が4名となり目標に至らなかった。このため、多職種で誤嚥性肺炎になった方の食形態や食べ方、姿勢、介助の仕方を検証し再発防止に努めている。

▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
ミールラウンドの強化	週3回	週4回	週4回
誤嚥性肺炎の発症者	2名	0名	4名

⑤ 機能訓練

集団体操は各通りにおいてほぼ毎日体操動画を流して自由に参加できるようにしたことで継続的に体を動かす機会を提供できた。個別の機能訓練は計画的に40名程度の方に実施した。

褥瘡発生は1件あったものの、その他の心配される方には身体状態の変化や食事量に合わせてマットレスやシートクッションを選定し早期に対応することで褥瘡にはいたらずに済んだ。

骨折の発生は2件あり、そのうち1件はポジショニングに要因があったため、ポジショニング方法の統一を再発防止として徹底した。また、筋力低下や関節拘縮が進んでしまった方には、身体状態に合わせて車椅子や歩行補助具の変更を随時行うなど、転倒・転落予防に努め、5年度よりも転倒事故が減少した。

▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
集団リハビリの実施	平均4回/月	平均6回/月	4,5月平均5.5回/月 ※6月以降は介護士により体操動画を用いて実施
褥瘡の発生	0件	0件	1件
骨折事故の発生	4件	0件	2件

## ⑥ 総務管理係

時間外勤務の削減については、課長・係長を中心に部署内の勤務状況を把握し適宜業務の見直しと3M（ムリ・ムダ・ムラ）の改善を図り、前年度の時間外勤務を下回る月が半数を越すことができました。しかし、年度後半に職員の体調不良や感染症対応により時間外勤務が増加した。

施設設備の整備については、補助金を活用し特殊浴槽およびナースコールを更新することができた。

### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
時間外勤務の削減	350時間/月(前年度実績比+3.5%)	339時間/月(前年度実績比-3.1%)	396時間/月(前年度実績比+13.1%)
施設設備の整備	Wifi環境整備、共用トイレ改修、非常照明バッテリー交換、非常放送設備更新等の工事	ナースコール更新(見守り支援システムの導入)	特殊浴槽更新、ナースコール更新(見守り支援システムの導入)

## (2) ショートステイ

令和5年に簡易個室化とトイレを改修し、ショート専用棟としたことで柔軟な受け入れが可能になり、稼働率が伸びたことに加え、近隣施設でショートの受入れを縮小したことによる新規利用者の増加も稼働率向上の一つとなっている。また、ご家族、居宅介護支援事業所のケアマネジャーにこまめに情報を伝えることで継続的な利用につながっている。

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどの感染症が流行する時期も受入れを中止することなく事業を継続できた。稼働率は目標値の74%に対し、80.3%と前年度実績の76.3%より4%増加となり、コロナ禍で低迷していた年間平均稼働率が80%を超えるまでに回復した。また、1人あたりの平均利用日数も増加しておりサービス利用の定着が進んでいる。

前年度より新規利用者数は減少したものの、利用実人数が増加しており、新規の利用者が希望する日程で利用できるよう、柔軟に対応した。

空き情報の発信を月2回に定着させ、情報提供の機会を強化した。

### ▼運営状況

項目	令和5年度実績	令和6年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働74.0%】	76.3%	80.3%	+4%
一日平均利用者数	15.3人	16.1人	+0.8人
平均要介護度	2.7	2.8	+0.1
一人あたり平均利用日数/月	8.8日	13.1日	+4.3日
新規利用者数	43人	29人	-14人

### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
利用実人数	49人	50人	53人
新規利用者受入れ	月3名	月4名	月2.4名
空き情報の発信	月1回	月2回	月2回

### (3) デイサービスセンター

I型、II型共に新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどの発症はあったが、営業を継続し利用者の希望に沿って受け入れることができた。

I型については、利用者が楽しめるようなレクリエーションや行事を実施し、体操も毎回行い、下肢筋力低下予防に努めた。

デイ便り、毎月の空き情報発信を継続した。また、積極的にホームページに活動内容掲載を行い、紙面掲載以外の利用中の様子を家族、居宅介護支援事業所のケアマネジャー等に見てもらい、満足度調査でも良い評価をいただいた。

II型については、利用者が楽しく参加でき、認知症の進行予防に繋がるレクリエーションを実施した。また、令和5年度に行った広報活動（デイ便り配布、ホームページ掲載）の成果が見られ、梁川ホーム以外の居宅介護支援事業所から新規利用の紹介が増え、さらに利用回数の追加を希望する利用者も増えた。

#### ▼運営状況【I型（一般型）】

項目	令和5年度実績	令和6年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働 85.0%】	78.8%	79.3%	+0.5%
延べ利用者数	6,065人	6,126人	+61人
平均要介護度	2.5	2.6	+0.1
新規利用者数	21人	27人	+6人

#### ▼運営状況【II型（認知症対応型）】

項目	令和5年度実績	令和6年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働 63.0%】	51.7%	63.0%	+11.3%
延べ利用者数	1,917人	2,337人	+420人
平均要介護度	2.8	3.0	+0.2
新規利用者数	12人	11人	-1人

#### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
外部研修参加、内部研修開催	4回/年	5回/年	4回/年
新アクティビティ 新介護予防体操の 実施	月1種類	月1種類	月1種類
利用実人数	I型 85人 II型 22人	I型 85人 II型 22人	I型 84人 II型 23人

### (4) ケアハウス広瀬

介護・看護・相談の多職種で随時のミーティングを行い入居者の状態や個別のケアプランについて情報を共有したほか、看護師が主となりかかりつけ医との連携を図りスムーズな医療支援を行った。また、利用者に変化があった際には家族へも都度連絡し、利用者が心身共に安心して生活ができるよう支援した。

入居者の精神的・身体的な不安や悩みを相談できる環境（話をしやすい関係作り、話を聞く場所の配慮）を作り、対応した。

多くの入居者が参加できる計画に基づいた毎月の行事、日々の健康体操、ホットパック（温熱療法）などの実施で楽しみや健康づくりの機会を継続し、入

居者同士の親睦を深めることができた。また、ホームページに行事の様子を掲載し、定期的に情報を発信することができた。

▼運営状況

項目	令和5年度実績	令和6年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働 90.0%】	87.4%	88.7%	+1.3%
月初日平均入居者数（定員 30 人）	26.2 人	26.9 人	+0.7 人
平均介護度	要支援 1.5 要介護 2.5	要支援 1.5 要介護 2.8	要支援±0 要介護+0.3
入院延べ日数	103 日	10 日	-93 日
平均年齢	89.1 歳	89.4 歳	+0.3 歳

▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
外出する機会の提供	週 6 回(月 1 回内容を更新)	年 4 回	年 2 回実施(春・秋)
毎月の行事の充実	集合形式の行事 5 割、内容をホームページに掲載	集合形式で行事を行う。内容をホームページに掲載し情報発信を行う	定期的に行事を行う事が出来た。ホームページにも掲載し情報を発信できた

(5) 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所

新規居宅サービス契約は 75 件で前年度より 13 件増加した。初回相談から契約、利用まで迅速丁寧に対応することができた（平均 2 週間以内）。

「適切なケアマネジメントの手法」に関する研修や医療と介護連携の研修にそれぞれ参加し、アセスメントの向上や医療との連携について学びを深め、実践に活かすことができた。

家族との連絡を密にして利用者の状態把握を行い、医療機関や関係事業所と連携し、住み慣れた地域での在宅生活が少しでも長く継続できるよう努めた。近年、入院や要介護状態が重度化すると、すぐに施設（特養、サービス付き高齢者住宅、有料型老人ホームなど）を希望される家族が増加している。

▼運営状況

項目	令和5年度実績	令和6年度実績	前年度対比
居宅サービス相談件数	1,794 件	2,005 件	+211 件
居宅サービス計画作成件数	1,678 件	1,852 件	+174 件
要介護認定調査件数	50 件	46 件	-4 件

▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
請求件数	139/月	160 件/月	154 件/月
職員数	4 人	4 人	4 人
サービス内容の確認・振り返り	4 回/月	4 回/月	4 回/月
地域活動への参加	1 回/月	1 回/月	1 回/月

## (6) 伊達市梁川地域包括支援センター

居宅介護支援事業所への予防プラン作成の委託増に伴い、介護予防支援に係るサービス調整やモニタリング等の相談実績の件数は減少しているが、プラン作成に係る業務負担が軽減されたことで、出前講座や認知症カフェの開催など、地域に出向いて認知症の理解促進の普及啓発活動に力を注ぐことができた。また、「8050」、「7040」問題では伊達市の担当者や保健師、民生委員等と多職種連携を図り支援することができた。

### ▼運営状況

項目	令和5年度実績	令和6年度実績	前年度対比
相談延べ件数	3,534件	3,104件	-430件
訪問件数	1,293件	1,131件	-162件
介護予防サービス作成件数	2,282件	2,168件	-114件
地域講座開催件数	4件	6件	+2件

### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
相談実績	190件/月	190件/月	180件/月
認知症カフェ開催	4回/年	4回/年	13回/年
地域ケア会議	13回/年	12回/年	12回/年
介護保険や認知症の理解促進、普及活動	普及啓発 12件 出前講座 4件	普及啓発 6件 出前講座 4件	普及啓発 13件 出前講座 4件

## 5 川俣ホーム

### (1) 特別養護老人ホーム

令和6年度は短期入所定員15名のうち1名分を措置入所へ充てたため、一般入所に切り替わる2月まで特養の利用者数は66名となり、稼働率が上昇した。さらに、利用者の健康管理とサービスの質の向上に注力し、特に口腔ケアの徹底により誤嚥を未然に防ぐことで肺炎の発症リスクが減少し、肺炎による入院者数を4名から2名に減らすことができたことも、稼働状況の維持につながった。一方で、退所者数は昨年度14名に対し今年度は19名となり、平均空床期間は4.8日増える結果となった。

業務効率化を目的として導入した介護記録用タブレットは、音声入力機能の活用を最優先に取り組んだところ、直接入力作業を減らしながら、より正確かつ迅速なデータの記録と管理を行うことができた。なお、令和6年度は看護係がバイタル測定器からの自動転送と併用して活用したことで、時間外勤務時間を13%削減できた。

### ▼運営状況

項目	令和5年度実績	令和6年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働98.5%】	98.4%	99.8%	+1.4%
延べ利用者数	23,779人	23,667人	-112人
平均要介護度	4.24	4.36	+0.12
平均年齢	89.8歳	90.7歳	+0.9歳
平均空床期間	5.1日	9.9日	+4.8日

## ① 介護係

季節の移ろいを感じる行事の実施に注力し、屋外で行った野点や外部団体も参加した夏祭り、家族を招いた敬老会など交流の機会を広げ、利用者の生活の質の向上を図った。一方で、特養施設内では12月から2月まで断続的にコロナ感染者が確認されたが、適切な対策を講じることで行事を継続して開催することができた。

口腔ケアに重点を置き、新人と中堅に分け経験に応じた研修を年に2回行うとともに、業務改善プロジェクトの活動としても取り組んだことで、口腔内の観察の重要性を再認識することができ、その結果利用者の誤嚥性肺炎の予防につながった。

さらに、新しい機械浴槽の導入により、利用者の安全性が向上し、職員の身体的負担が軽減された。また、導入効果もあってか、腰椎検査で要所見となる職員の数も9名から4名へと減少している。

高齢者虐待防止の視点をいれた接遇アンケート調査を9月に実施し、互いに改善点を伝え合える関係性が弱いなどの課題を明確にしたうえで、職員の意識向上とサービスの質の改善につなげる取り組みを行った。また、その成果を確認するため3月に再度アンケートを実施し、改善状況を検証することとした。

### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
季節を感じながら楽しんで頂ける行事の実施	1~2回/月 (全14回)	1回/月 (全12回)	0~2回/月 (全13回)
口腔ケアの定期的な勉強会・職員への研修実施	2回/年	2回/年	2回/年
接遇の取り組みについてのアンケート調査回数	—	2回/年	2回/年

## ② 看護係

定期健康診断の実施に加え日々の健康状態の把握を徹底し、協力病院との緊密な連携を通じて、異常の早期発見および迅速な対応に努めた。

看取りに関しては、これまでは協力病院からのお見送りとしていたが、病院都合にて8月より住み慣れた施設からに変更となり、9名の利用者をお見送りした。これを受けて、施設職員がご本人の身支度を整え、最後の言葉をかけることで、施設内においても看取りの過程を大切にすることができた。

12月からコロナ感染者の報告が断続的にあり、対応の統一や申し送りの徹底を図る中で職員の負担が増した。その一方で、感染症対応の難しさを改めて認識しながらも、職員間での協力体制が強化され、さらに罹患者を明確にして対応にメリハリをつけることや、PPE（個人防護具）の使用方法を再確認するなど、感染対応に関する具体的な改善策が進められる機会ともなった。

▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
感染症発生件数 (10名以上)	3件 利用者 18名 職員 21名	0件	1件 利用者 42名 職員 15名
感染症BCP訓練	3回/年	3回/年	3回/年

③ 生活相談係

令和6年度は、特養入所の上位待機者のうち、男性1名・女性3名の実態調査を実施しておくことを基本とすることで、空床の期間を最小限に抑えることを意識した。しかし、1月から3月にかけての3か月間では退所者数が8名と実態調査終了者4名を上回ったため、この期間の空床平均が12.6日となった。

6月から、利用者と家族がより自然なふれあいを楽しめるよう、感染症対策のための透明シート越しでの面会を終了し、各グループに専用の面会スペースを設けた。これにより、利用者に安心感を得ていただく場を提供でき、家族とのコミュニケーションを通じてより充実した時間を過ごせるよう努めた。

また、相談援助技術の向上としての外部研修参加に加え、日々の業務の中で相談援助や苦情対応スキルを磨く機会を設けたことにより、実践を通じた対応力や判断力の育成に努めた。

▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
入所までの空床期間	平均5.1日	平均9日以内	平均9.9日
相談援助・苦情対応 スキルの向上	外部研修参加 1名 係内研修実施 隔月	外部研修参加 1名 係内研修実施 隔月	外部研修参加 1名 係内研修実施 4回

④ 機能訓練

利用者の身体機能を維持するため、日常生活動作を通じて行う生活リハビリに重点を置き、エビデンスに基づいた機能訓練を行った。機能訓練計画書の具体化や、タブレットを用いた視覚的アプローチを活用することで職員間での情報共有や理解を図り、利用者の状態に応じた個別機能訓練を実施した。なお、利用者の身体機能状況の可視化の取り組みとして、訓練実施状況を写真付きで家族へ報告することを進め、感染症の影響によるリハビリ中止はあったものの、対象利用者35名のうち18名へ送付することができた。

利用者の状態に応じた福祉用具の導入や環境整備を積極的に行い、利用者の安全性や快適性の向上を図った。また、シーティング・ポジショニングの介助方法を確実に共有するために、月1回のペースで写真を活用したミーティングを開催した。

▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
多職種で利用者への介助方法を共有	1回/月	1回/月	1回/月
個別機能訓練実施の様子を計画書送付時に添付	1回/年 (26名)	1回/年 (35名)	1回/年 (18名)

⑤ 栄養管理係

クックチル方式への移行により、その多くが高齢者施設未経験の厨房スタッフによる新体制での食事提供とはなったが、安全・安心な食事の提供を実現できた。7月からは厨房スタッフミーティングを開始し、衛生管理や高齢者の食事に関する理解と実践を深めている。しかし、食に関する行事やイベントに関しては、年5回を計画していたが、「ちまき作り」と「芋煮会」の2回に留まった。

10月に保健所による特定給食施設指導があったが、その際の「災害時の食品備蓄の効率化」に関する助言をもとに、備蓄品使用献立計画に基づいて使用日や賞味期限を明記したラベルを作成・貼付し、持ち出しやすいよう工夫した。これにより、災害時に備蓄食を計画的にかつ迅速に活用できる仕組みを整えることができた。

▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
経口維持計画書作成	62% (41人)	70% (46人)	61% (39人)
食に関する行事・イベントの実施	5回/年	5回/年	2回/年

⑥ 総務管理係

会議開催日を集約し、なおかつ業務時間内の実施を基本としたことで時間外手当は12%の減となったが、厨房の直営化に伴う人件費増や、感染症対応期間の長期化(約3か月間)にともなう消耗品費の増など様々な要因により、経常経費は昨年度対比で2.9%の増となった。

風水害を想定した訓練を計2回実施し、うち1回は炊き出し訓練を含む形で実施した。また、新任職員や厨房職員を対象とした防災研修を計4回実施し、災害対応への意識向上と実務対応力の強化を図った。

▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
経常経費の削減	前年度比-0.14%	前年度比-3%	前年度比+2.9%
施設設備の充実	特殊浴槽等整備	非常照明等防災設備整備	設備整備見送り
災害対応BCP研修訓練	防災訓練3回/年 災害BCPの整備	BCP研修・訓練 3回/年	BCP研修4回/年 BCP訓練2回/年

## (2) ショートステイ

4月および5月は稼働率80%台と目標稼働率を上回ったものの、6月以降は70%台を推移し、結果目標稼働率の達成には至らなかった。この状況を受け、令和7年1月に地域の居宅介護支援事業所へのヒアリングや他の介護サービスの利用状況を調べるなどして要因分析を行った。その結果、医療依存度が高い方やリハビリを希望する利用者の割合が増えていることなどが一因にあることがわかった。

しかし、新規利用者数は前年度対比で2人増、一人あたりの平均利用日数も0.7日の増となっている。これは、月に1回以上は居宅介護支援事業所へ出向き、利用者に応じた利用追加のメリットを直接説明していたことも好結果につながった理由のひとつと考える。実際に、10月に実施したケアマネジャー対象の満足度調査結果にも「家族が気にしている点に着目して提案していただき助かる」と記載があったことから、利用者や家族にショートステイの利便性や必要性の理解が深まっていることがうかがえた。

このほか、利用者・家族を対象とした満足度調査結果についても「職員の対応」について98.5%が満足と回答された。

利用中のレクリエーションは、利用者ごとのニーズやサービス利用の目的を踏まえた創作活動や知的活動、手工芸などの個別レクリエーションを実施した。また、身体的・精神的状況によりレク材の使用が難しい場合には、職員や他の利用者との交流や音楽鑑賞など、代替りのメニューで対応し、実施した内容については、毎回ケース記録へ記入し家族へも報告を行った。

### ▼運営状況

項目	令和5年度実績	令和6年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働80.0%】	83.8%	72.3%	-11.5%
一日平均利用者数	11.7人	10.8人	-0.9人
平均要介護度	2.76	2.97	+0.21
1人あたり平均利用日数/月	10.2日	10.9日	+0.7日
新規利用者数	19人	21人	+2人

### ▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
利用実人数	35名/月	38名/月	30名/月
レクリエーション・アクティビティ数(開催回数)	1~2回/週	2回/週	2回/週
満足度調査結果	満足 94.7%	満足 90.0%以上	満足 98.5%

## (3) デイサービスセンター

令和6年度は、I型・II型ともに目標稼働率を下回る結果となり、この状況を受け、ショートステイ同様にヒアリングにて要因分析を行った。その結果、重度の認知症の方等も柔軟に受け入れてくれているとの声がある一方で、地域住民にデイサービスのサービス内容が十分に認識されていないのではないかと

の意見が聞かれたため、重度者や認知症の方の受け入れおよび地域サロンへの参加や介護相談会の開催など地域住民との交流機会の創出を通じて新規利用者の獲得に向けた活動を進めた。

9月に利用者・家族を対象とした満足度調査を実施したところ、「職員の対応」について99%の方が満足と回答している。さらに、調査結果から入浴サービスが大きな楽しみとなっていることがわかったことから、10月より入浴の時間をより楽しんでいただけるよう、月に一度一週間にわたって、ゆず湯やりんご湯といった「行事湯」を開催することとした。加えて、年2回の外出行事以外にも、外部団体も参加する夏祭りや敬老会などを再開し、地域社会とのつながりを深めるイベントも開催することができた。

▼運営状況【I型（一般型）】

項目	令和5年度実績	令和6年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働83.0%】	82.5%	74.1%	-8.4%
延べ利用者数	3,822人	3,369人	-453人
平均要介護度	1.84	1.61	-0.23
新規利用者数	24人	15人	-9人

▼運営状況【II型（認知症対応型）】

項目	令和5年度実績	令和6年度実績	前年度対比
稼働率【目標稼働66.5%】	63.1%	54.6%	-8.5%
延べ利用者数	2,339人	1,987人	-352人
平均要介護度	3.05	2.88	-0.17
新規利用者数	11人	7人	-4人

▼事業目標の実施状況

目標計画	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実績
利用実人数（I・II）	I型45名/月 II型30名/月	I型43名/月 II型25名/月	I型37名/月 II型22名/月
外出行事の実施	2回/年	2回/年	2回/年
満足度調査結果	満足 96.0%	満足 96.0%以上	満足 99.0%

### Ⅲ 事業報告の附属明細書

## 令和6年度市町村別・月別利用状況

### (1) あつかし荘

#### 特養

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	計	月内の異動	
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月館町						入所	退所
令和6年 4月	3	0	1	5	4	2	2	23	19	0	2	61	2	2
5月	3	0	1	5	4	2	2	23	20	0	2	62	3	2
6月	3	0	1	5	4	3	2	22	20	0	2	62	4	4
7月	3	0	1	5	3	4	2	22	21	0	1	62	1	1
8月	3	0	1	5	4	4	2	21	22	0	1	63	3	2
9月	3	0	1	5	4	4	2	22	21	0	1	63	1	1
10月	3	0	1	6	3	4	2	22	21	0	1	63	2	4
11月	3	0	1	7	3	4	2	20	20	0	2	62	2	0
12月	3	0	1	7	3	4	2	20	21	0	2	63	1	2
令和7年 1月	3	0	1	7	3	4	2	20	20	0	2	62	2	2
2月	3	0	1	7	4	4	2	20	20	0	1	62	4	4
3月	3	0	1	6	6	3	2	21	18	0	2	62	2	1
合計	36	0	12	70	45	42	24	256	243	0	19	747	27	25

※月初日の入所者数 ※月初日入所者は、計と入所に重複する。

#### 短期入所生活介護

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	合計 延日数	1日平均人数	ベッド稼働率
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月館町							
令和6年 4月	0	0	2	4	0	0	0	28	136	0	0	170	5.7	59.0
5月	0	0	0	0	0	0	0	85	125	0	0	210	6.8	75.3
6月	0	0	2	6	0	0	0	63	120	0	0	191	6.4	70.7
7月	0	0	0	6	0	0	0	59	118	0	0	183	5.9	65.6
8月	0	0	0	1	0	0	0	66	161	0	0	228	7.4	81.7
9月	0	0	2	11	0	0	0	73	159	0	0	245	8.2	90.7
10月	0	0	0	15	6	0	0	52	146	0	0	219	7.1	78.5
11月	0	0	0	19	4	0	0	64	144	0	0	231	7.7	85.6
12月	0	0	0	17	2	0	0	61	150	0	0	230	7.4	82.4
令和7年 1月	0	0	0	6	2	0	0	87	146	0	0	241	7.8	86.4
2月	0	0	0	10	2	0	0	80	129	0	0	221	7.9	87.7
3月	0	0	0	19	2	0	0	98	130	0	0	249	8.0	89.2
合計	0	0	6	114	18	0	0	816	1664	0	0	2618	7.2	79.4

Ⅲ 事業報告の附属明細書

令和6年度市町村別・月別利用状況

(2) 梁川ホーム

特養

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	計	月内の異動	
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町						入所	退所
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
令和6年 4月	1	0	4	31	23	8	2	5	5	1	0	80	4	6
5月	1	0	3	29	25	8	2	5	4	1	0	78	2	2
6月	1	0	3	28	25	8	2	6	4	1	0	78	2	2
7月	1	0	3	29	26	7	2	6	4	1	0	79	2	0
8月	1	0	4	29	26	7	2	6	4	1	0	80	1	2
9月	1	0	4	29	25	7	2	6	4	1	0	79	1	1
10月	1	0	4	28	25	7	2	6	4	2	0	79	2	3
11月	1	0	4	28	25	7	2	6	4	1	0	78	4	2
12月	0	0	4	30	26	7	2	6	4	1	0	80	1	1
令和7年 1月	0	0	4	30	26	7	2	6	4	1	0	80	3	3
2月	0	0	4	32	24	7	2	6	4	1	0	80	1	2
3月	0	0	4	32	25	7	2	5	3	1	0	79	2	2
合計	8	0	45	355	301	87	24	69	48	13	0	950	25	26

※月初日の入所者数 ※月初日入所者は、計と入所に重複する。

短期入所生活介護

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	合計	1日平均人数	ベッド稼働率
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町					延日数		
	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(人)	(%)	
令和6年 4月	0	0	0	245	78	53	0	0	50	0	0	426	14.2	71.0
5月	0	0	0	274	87	56	0	0	54	0	0	471	15.2	76.0
6月	0	0	0	300	82	54	0	0	50	0	0	486	16.2	81.0
7月	0	0	0	363	92	62	0	0	51	0	0	568	18.3	91.6
8月	0	0	0	369	63	56	0	0	57	0	0	545	17.6	87.9
9月	0	0	0	341	83	55	0	0	49	0	0	528	17.6	88.0
10月	0	0	0	331	84	57	0	0	53	0	0	525	16.9	84.7
11月	0	0	0	291	89	54	0	0	54	0	0	488	16.3	81.3
12月	0	0	0	261	73	58	0	0	53	0	0	445	14.4	71.8
令和7年 1月	0	0	0	273	76	51	0	0	54	0	0	454	14.6	73.2
2月	0	0	0	318	63	40	0	0	47	0	0	468	16.1	80.7
3月	0	0	0	310	62	47	0	3	38	0	0	460	14.8	74.2
合計	0	0	0	3676	932	643	0	3	610	0	0	5864	16.1	80.3

Ⅲ 事業報告の附属明細書

令和6年度市町村別・月別利用状況

(3)川俣ホーム

特養

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	計	月内の異動	
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町						入所	退所
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
令和6年 4月	2	3	0	1	3	5	4	1	0	44	3	66	1	1
5月	2	3	0	1	4	5	4	1	0	43	3	66	0	2
6月	2	3	0	1	4	5	3	1	0	42	3	64	3	1
7月	3	4	0	1	4	5	3	1	0	43	2	66	2	2
8月	3	4	0	1	4	4	3	1	0	44	2	66	1	1
9月	3	4	0	1	4	4	3	1	0	44	2	66	1	1
10月	3	4	0	1	4	4	3	1	0	44	2	66	0	2
11月	3	4	0	1	3	4	3	1	0	44	2	65	2	0
12月	3	5	0	1	3	4	3	1	0	44	2	66	0	1
令和7年 1月	3	5	0	1	3	4	3	1	0	43	2	65	2	2
2月	3	5	0	0	3	4	3	1	0	43	3	65	4	5
3月	3	5	0	1	2	4	3	1	0	42	3	64	2	1
合計	33	49	0	11	41	52	38	12	0	520	29	785	18	19

※月初日の入所者数 ※月初日入所者は、計と入所に重複する。

短期入所生活介護

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	合計	1日平均人数	ベッド稼働率
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町					延日数		
	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(人)	(%)	
令和6年 4月	0	45	0	0	0	0	10	0	0	308	0	363	12.1	80.7
5月	0	49	0	0	0	0	11	0	0	317	0	377	12.2	81.1
6月	0	42	0	0	0	0	7	0	0	288	0	337	11.2	74.9
7月	0	18	0	0	0	0	11	0	0	299	0	328	10.6	70.5
8月	0	9	0	0	0	0	15	0	0	339	0	363	11.7	78.1
9月	0	12	0	0	0	0	15	0	0	318	0	345	11.5	76.7
10月	0	0	0	0	0	0	12	0	0	321	3	336	10.8	72.3
11月	0	8	0	0	0	0	16	0	0	285	17	326	10.9	72.4
12月	0	0	0	0	0	0	10	0	0	221	31	262	8.5	56.3
令和7年 1月	0	0	0	0	0	0	18	0	0	260	29	307	9.9	66.0
2月	0	10	0	0	0	0	15	0	0	303	0	328	11.7	78.1
3月	0	9	0	0	0	0	13	0	0	262	0	284	9.2	61.1
合計	0	202	0	0	0	0	153	0	0	3521	80	3956	10.8	72.3